

ものづくり展

溶接システムをパネルで

フジコーポレーション

さきごろ「ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞が決定。この中でフジコーポレーションが経産省関係の製造・生産プロセス部門で、「若手社員が革新的溶接ロボットシステムの自動化に成功した」として優秀賞を受賞した(詳細は本紙3月12日付既報)。

これを受けて、経産省主催、(独)国立科学博物館共催による「ものづくり展」が3月20～4月8日まで、東京・上野の国立

科学博物館で開催される。オープンに先駆け、3月19日には報道関係者を対象としたプレス内覧会が行われた。内覧会では、経産省の中根大臣政務官が主催者を代表して挨拶した。鈴木国立科学博物館科学技術史グループ長が、展示解説を行った。

この展示会の主旨は、「ものづくり日本大賞」の受賞者とその優れた技術を広く世の中に伝えようというもの。内閣総理大臣賞および経産大臣賞は実物展示、特別賞および優秀賞はパネル展示された。

フジコーポレーションは、パネル展示されたが、多くのプレス関係者が解説文に熱心に見入っていた。

優秀賞

受賞作品名 若手社員が革新的な発案に挑戦し実現した革新的な溶接ロボットシステム

開発企業名 フジコーポレーション株式会社

受賞者名 大島 由男 宮地 弘志 平田 千博 小林 志博
水塚 健 樋口 政康 金子 登樹 永谷 正樹
渡辺 賢介 高橋 尚晴

分野 経営・サービスのイノベーション

審査官 荒川 和久

案件の概要
製造業の革新的な生産プロセスのフレキシブルな自動化を実現するプロジェクトにより、革新的な一合流の製造生産を実現した革新的な溶接ロボットシステムを開発。これにより、中小企業の制作条件である「人と労力」の課題を克服。題には、季節商売のチームを一合流と市場ニーズに即応対応。前掲役員を表彰し、特賞額1/4、特賞費1/2、前掲役員報酬1/2に相当。

パネル展示のフジイ